

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、さぎの宮圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和5年8月4日（金）13時30分から15時20分まで
参加者	委員：10人 事務局：1人 その他：12人（高齢者福祉課：2人、東区長寿保険課：2人、協働センター2人包括支援センターさぎの宮：2人、浜松市社協：4人）
場所	東区役所 31・32 会議室
内容	<p>（開会） 会長より開会の挨拶</p> <p>【今までの振り返り及び今年度の進め方について】 事務局より浜松市の生活支援体制整備事業についての目的・背景・事業内容の説明。H28年から勉強会を開催した当時に出た意見等の振り返りを行う。 今年度は、新たな「地域のたすけあい」について考えていくため、過去に出た意見も参考にしながら進めていくことを説明。</p> <p>【情報提供】 家事支援についての情報提供 長上：今年度から代表は新代表に交代した。企画のスタッフが10名減り、12町のリーダーを降りる人が増え、現在リーダーは4名で回している。活動は11町で活動。その内、新代表が8町のリーダーになっている。活動は縮小傾向であるが、活動を休止してはいけないと思っている。4月～7月120件、スタッフの減少により昨年度よりは件数減っている。市社協とも連携している。</p> <p>笠井：3年がかりの熟議を重ねて、5/25発足となった。9：30～11：00ふれあいコーナーの電話で受付。月・水・金をそれぞれの地区リーダーが交代で、他の曜日は地区社協の事務局で担当。7月31日までの期間に草取り2件、片付け1件。連絡調整が上手くいかずケアマネが間に入っているケースが2件あるが、個人情報で本人・家族からの連絡待ち。 緊急で民児協より草取りについて相談、家の防草シートのない部分の草取りをお願いしたい等ほとんどが草取りだが、この暑さのため、ボランティアの健康も考えて、もう少し涼しくなるまでお待ちいただけますかとお願いしている。涼しくなるまで見合わせのケースが2件。 自治会、隣組の回覧。自治会にお願いして、だるま会のチラシを個別配布していく。</p> <p>【意見交換会】 「今年度のテーマについて」 ・それぞれの地域のマップを見ながら、意見交換を行った。</p>

	<p>【各地区からの報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会の内容を各地区より発表した。 <p>[長上地区]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マップに公会堂、サロン、人が集まるところを落とし込んだ。 空白地帯の確認。人口に対して数がない。 住民の声、ネット上で出てこない情報収集ができた。情報の落とし込み。次回も同じような作業になるかと思う。 ・新たに見える化、よい話し合いができたのではないか。今年度、引き続きマップの活用をしてきたい。 <p>[笠井地区]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率について意見交換。 笠井上町・新田は人口増えている、常光・貴平の高齢化率上がっている。 サロンの落とし込み、使われていない公会堂の把握。その結果、天竜川周辺、常光・貴平の集いの場がないということが分かった。空き家になっている所もいくつかある。集いの場の継続できる場所を増やしていく。 ・困りごととしては、買い物。次回はお店の見える化、移動スーパーの活用地点、居場所や集いの場を視野にいれて話し合いをしていく。 <p>【令和5年度第2回協議体の開催について】</p> <p>令和5年10月中旬以降の水曜日・金曜日の午前中を予定</p> <p>【閉会】</p> <p>副会長より閉会の挨拶</p>
<p>今後の見通し等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きマップを活用しながら、新たな地域の情報等を落とし込み、「地域のたすけあい」について協議を深めていく。